

神奈川県横浜市鶴見区に、曹洞宗の大本山のひとつである總持寺そうじじがあります。この總持寺を開かれた方が、瑩山けいざんぜんじ禪師です。

瑩山けいざんぜんじ禪師は、現在の曹洞宗の基礎を築かれました。

厳格な修行まいしんに邁進し曹洞宗を開かれた道元どうげん禪師の教えを受け継ぎ、瑩山禪師は観音様の慈悲の心を持って、広く一般に曹洞宗の教えを広められたのです。

また瑩山禪師は、人々の男女平等を強く意識しました。鎌倉時代においては革新的な考え方でした。その考え方をもって、瑩山禪師は、特権階級である貴族や武士のみならず、男女を問わず、多くの人々を仏教徒にする儀式を行っています。そのときの瑩山禪師は、母が子を慈しむような様子であったと伝えられています。

みなさまの中には、「私は仏教徒です」と自覚して信仰生活をおくっている方もおられると存じます。現代の日本では、宗教は個人で選べます。しかし、正月には神社にお参りをし、地域のお祭りに参加し、お盆やお彼岸を経て、クリスマスを楽しみにするという、日本人の多信仰感たしんこうかんの表れの中で生活している人も多いのではないのでしょうか。

瑩山禪師は、この様な日本の多信仰感の中でも「私は仏教徒です」と言える場をつくり、曹洞宗の教えを広め、悩みや苦しみの中にいる人々が救われることを願いとしてこられた方なのです。

横浜鶴見の丘にある大本山總持寺では、広大な敷地の中で瑩山禪師の教えを受け継ぐたくさんの僧侶が、現在も毎日厳しい修行の日々をおくっております。

近隣には学校や幼稚園などもあり、学生や園児たちなど多くの方々が、男女を問わず、總持寺の境内けいだいで思い思いに時を過ごす姿も見かけられます。

よろしかったら、みなさまも広大な敷地の總持寺を訪れて、瑩山禪師の教えに触れてみてはいかがでしょうか？

大本山總持寺では、坐禅修行を行うことができます。悩み多きこの世の中、お時間と都合が合えば、静かに坐禅を組み自分自身を見つめてみるのも良いかもしれません。